



第93回 世田谷祭

4年ぶりの感動を

第93回 東京都市大学 世田谷祭実行委員会 委員長

建築都市デザイン学部 都市工学科 3年 松重 優理乃

第93回世田谷祭にご来場並びにご視聴いただいた皆様、誠にありがとうございました。多くの企画をご用意させていただきましたが、お楽しみいただけたでしょうか。私たち世田谷祭実行委員会も手探りで開催にこぎつけた世田谷祭でしたが、来場者数は両日で5000人を超えるなど沢山の方にご来場いただきました。

今年度の世田谷祭はオンラインに加えて、4年ぶりに来場型でも開催しました。さらに、等々力キャンパスの移転や世田谷キャンパスに新7号館、新10号館が竣工するなど特別な年となりました。来場型の大学祭を開催した経験者が誰一人いない状況（昨年度は、世田谷祭・等々力祭共にオンライン開催）だったため、不安な気持ちの中で第93回世田谷祭はスタートを切りました。

4月から150名近くの新入生も迎え、大学一大きい組織として活動しましたが、最後まで世田谷祭実行委員会の連携がとれたのは「世田谷祭を無事成功させよう」という皆の思いがあったからだと思います。そしてそれは事故なく無事に世田谷祭を開催するにあたりとても大切な事でした。しっかり付いてきてくれて本当に感謝しています。

世田谷祭で印象的だったのは来場者の方、そしてスタッフの笑顔でした。来場者の方が笑顔になっていただけていた様子はもちろん、スタッフと来場者が一緒に企画を楽しんでいる様子や会話をしている姿を見ているとオンライン開催では直接触れ合うということができなかったのではの良さであると改めて気づき、実現できて本当に良かったと思います。

いくつか取材をお受けする際に必ず聞かれたのは、それは「一番見てほしい企画は」という質問です。実はこの質問が私にとって一番難しい質問でした。中夜祭や後夜祭、ステージ企画はよく注目されますが、ピックアップには出てにくい教室企画それぞれとても魅力的です。各企画が短時間でできるものなので沢山の企画を回れたり、個性豊かで特徴が全然違ったり、スタッフとの距離が近く色々聞けたりと全企画がおすすめポイントです。

このように全てが魅力的な世田谷祭は今後も続いていきます。来年は私たちを超えてさらに良い世田谷祭になることを期待しています。

